

【アートプロデュース表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科教育目標			アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
アートプロデュース表現領域教育目標			アートプロデュース表現領域では、女性の視点に立ち、展覧会を中心に音楽、演劇、映像などに関わる、様々なアートプロデュースの基礎を学び、アートを通して、社会と人間をつなぐことを喜びとする社会貢献について理解を深め、複雑化・国際化する社会に対応できるアートプロデューサー、コーディネーター、ファシリテーターとなる人材の育成を教育目標とする。					
アートプロデュース表現領域カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けられたか。「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けられたか。「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	アート・デザイン表現基礎演習A		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習B		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習C		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習D		◎		◎	◎
			宇宙・人間・アート	◎		○		
			アート表現論	◎	◎			
			ミュージアムスタディ概論	◎	◎	◎		◎
			アートプロデュース概論	◎	◎			◎
		【1～4年次】選択	メディア概論	◎				
			ヒーリング・デザイン概論	◎	◎	◎		◎
			癒しの文化論	◎	◎	◎		◎
			ファッションデザイン史	◎				
			ファッション&テキスタイル概論	◎		◎		
	専攻・領域専門	必修	コミュニケーションデザイン演習A		◎		◎	
			コミュニケーションデザイン演習B		◎		◎	
			映像基礎演習		◎		◎	
			空間基礎演習		◎		◎	◎
2	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅰ		◎	◎	◎	◎
			国際交流文化概論A			◎		
			国際交流文化概論B			◎		
			現代文化概論	◎	◎			
			映像文化概論	◎		◎		◎
	学科共通	【2～4年次】選択	メディアアート概論	◎			◎	
			演出概論	◎	◎		◎	
			メディアコミュニケーション論	◎	◎		◎	
			キャラクター文化論	◎			◎	◎
			カラーセラピー概論	◎	◎			
			絵本芸術論	◎				
			子どもの福祉デザイン概論	◎				
			伝統・先端		◎	◎		
			ファッション文化論					
			子ども発達論	◎		◎		
			ファシリテーションデザイン概論		◎	◎		
			プレゼンテーション技法論		◎			◎

【アートプロデュース表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科教育目標			アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
アートプロデュース表現領域教育目標			アートプロデュース表現領域では、女性の視点に立ち、展覧会を中心に音楽、演劇、映像などに関わる、様々なアートプロデュースの基礎を学び、アートを通して、社会と人間をつなぐことを喜びとする社会貢献について理解を深め、複雑化・国際化する社会に対応できるアートプロデューサー、コーディネーター、ファシリテーターとなる人材の育成を教育目標とする。					
アートプロデュース表現領域カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	専攻・領域専門	必修	アートプロデュース演習Ⅰ		◎	◎		
			アートマネジメント演習Ⅰ	◎	◎	◎		◎
			ミュージアムスタディ演習Ⅰ		◎	◎		◎
			ミュージアム・エデュケーション演習Ⅰ	◎		◎		◎
			音楽プロデュース演習Ⅰ		◎		◎	
			舞台芸術プロデュース演習Ⅰ		◎	◎	◎	
			アートコミュニケーション演習	◎	◎			◎
3	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅱ		◎		◎	
		【3～4年次】選択	メディア文化論特講	◎				
			デジタル知的財産概論	◎				
			メディアマネージメント論	◎	◎			◎
			コンテンツプロデュース論		◎			◎
			芸術療法概論	◎	◎		◎	
			空間デザイン概論	◎	◎		◎	
			アンケート調査・分析法	◎		◎	◎	
			生態学	◎				
			心とアートの心理学			◎		
	専攻・領域専門	必修	アートプロデュース演習Ⅱ				◎	◎
			アートマネジメント演習Ⅱ			◎	◎	◎
			ミュージアムスタディ演習Ⅱ		○	◎	◎	
			ミュージアム・エデュケーション演習Ⅱ	◎	◎		◎	◎
			音楽プロデュース演習Ⅱ		◎		◎	◎
			舞台芸術プロデュース演習Ⅱ		◎	◎	◎	
			ヒーリング・アートプロジェクト演習		◎		◎	◎
4	専攻・領域専門	必修	総合アートプロデュース実習		◎		◎	◎
			卒業研究		◎	◎	◎	◎